

新たな時代を拓く 魅力あるまちづくり

紀宝町長

西田健



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに令和2年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は町行政に対して深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、令和元年の幕開け、新しい時代が始まる歴史的に意義深い年となりました。また、ノーベル化学賞の受賞やスポーツ界での活躍など、様々な分野で、人々に感動や希望を与えてくれた話題に恵まれた年でした。他方で、記録的豪雨や台風の影響による大規模停電など、改めて自然災害の脅威を見せつけられるとともに、防災・減災の大切さを痛感いたしました。

年頭にあたり新たな決意のもと「人の命が一番」「子どもはまちの宝」「高齢者はまちの誇り」を基本にし、町民の皆様が住んで良かったと実感できる魅力あるまちづくりの実現に向け、誠心誠意全力を尽くしてまいります。存でございます。

昨年3月に一般国道42号紀宝熊野道路、新宮道路が事業化されたことにより、紀伊

原区の皆様との連携を密にし、円滑に事業を進めてまいります。

地域農業を支えてこられた方々が高齢化する中で、将来地域の農地の担い手や集約化などについて、地域の皆様と協議し「人・農地プラン」の実質化に取り組んでまいります。

地方創生につきましては、平成27年度から令和元年度の5か年を一期目として全国的に取り組みが進められました。本町におきましても、子育て、移住定住、商工観光などを中心に事業を展開し、一期目の集大成としましては、飛雪の滝キャンプ場をリニューアルし多くの皆様に訪れていただくことができました。

本年は地方創生の取り組みが二期目を迎える年となります。国では地方移住につながる関係人口の創出や、AIなど先端技術を活用するSociety5.0といった新たな視点を盛り込みさらに深化を図ることとされており、本町としても時代の流れに適応し、人口減少に歯止めをかける取り組みをさらに進めてまいります。

また、井内工業団地で操業中のパナソニックライフソリューションズ電材三重株式会社にお

半島一周高速道路の実現が確実なものとなりました。事業化に際し、ご尽力いただきました国、三重・和歌山両県、関係国会議員、町民の皆様衷心よりお礼申し上げます。

一般国道42号新宮紀宝道路では、熊野川に架かる新宮紀宝道路熊野川河口大橋3基の橋脚が完成し、新たに紀宝町側の橋脚3基、新宮市側の橋梁上部工事が行われており、着実に事業が進捗しております。引き続き新宮紀宝道路が一日も早く完成し、事業効果を早期に発現できることを目指すとともに、全区間において早期に工事着手されるよう、今後も国や県、関係各位と緊密に連携し、円滑な事業進捗に向け全力で取り組んでまいります。

また、熊野川・相野谷川の治水事業を引き続き進め、昨年河川整備計画が策定された神内川や井田川等の河川整備とともに七里御浜海岸侵食対策に取り組んでまいります。

桐原地区営農飲雑用水施設（水道）整備は、現在、浄水施設に係る敷地造成工事・建築工事・浄水施設整備工事に着手しており、早期完成に向け、三重県や桐

きましては、本年中に新工場が完成する予定であり、さらなる雇用の増進が期待される所とあります。

青森県藤崎町との地域間連携では、お互いの特産品を活用した新商品開発や直売所同士の相互販売を通じて民間事業者同士でも物産交流が行われており、行政間の連携をさらに深めながら、ローカルtoローカル新連携プロジェクトが皆様に浸透するよう取り組んでまいります。

石川県中能登町とは、姉妹町提携後、親善を深めながら官民合わせた様々な分野で交流が進められており、今後も両町のさらなる発展と相互協力の絆が深まっていくことを期待しております。

防災対策関係につきましては、

は、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されていることから、国土交通省により道の駅「紀宝町ウミガメ公園」横の防風林の一部を使用し、防災備蓄倉庫や非常用発電機、受水槽、道路啓開用車両置場等の整備が行われます。復旧支援の拠点としての役割を担うものとなり、本町といたしましては防



桐原営農飲雑用水施設



整備が進む新宮紀宝道路熊野川河口大橋



成川高台公園整備



飛雪の滝キャンプ場

Greetings of the New Year

Greetings of the New Year